

九州南 議会だより

第 20 号

平成24年11月5日発行

MINAMI KYUSHU CITY



白熱するポニーレース（夢・風の里アグリランドえい）

災害復旧費など3億4745万円補正 2
条例制定・改正、請願・陳情 5
23年度一般会計決算213億円 6
一般質問14人が登壇 8
市民の声 16

費など補正

9月定例会



青色発光ダイオードを使用した電光掲示板

問 具体的な事業内容
答 南九州市障害者虐待防止ネットワーク推進会議を設置し、障害者虐待の予防、早期発見、当事者相互の保護・支援などに関する協議や夜間、休日の相談窓口の開設などを行う。

○児童扶養手当関係費
304万8千円
高齢者の地域支え合い体制づくりの構築を支援し、在宅歯科医療を推進するための補助で、財源は全額県補助金である。

○地球温暖化対策事業費
960万円
住宅用太陽光発電導入支援事業補助金に不足が生じたことによる扶助費の増額である。

総務人事関係費
25万7千円
本市出身で、高輝度青色発光ダイオードを実現させた名城大学院教授の赤崎勇氏に市民栄誉賞を授与するための経費。

世界記憶遺産推進費
713万5千円
世界記憶遺産登録推薦に必要な書類の英語翻訳及び特攻隊員管理システムの機能追加などの委託料である。

○総務人事関係費
25万7千円

世界記憶遺産推進費
713万5千円
知覧特攻平和会館で収蔵している遺書や遺品の世界記憶遺産登録推薦に必要な書類の英語翻訳及び特攻隊員管理システムの機能追加などの委託料である。

障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律が10月1日に施行されることに伴い、各種対策を講じ障害者虐待の未然防止や支援などの充実を図る事業で委託料などが主なものである。

地域支え合い体制づくり事業費
354万円
高齢者の地域支え合い体制づくりの構築を支援し、在宅歯科医療を推進するための補助で、財源は全額県補助金である。

○予防接種関係費
813万8千円
ポリオ予防接種が生ワクチンから不活性ポリオワクチンに移行するための委託料などである。

一般会計の主な補正

9月定例会は、9月4日から9月28日までの25日間の会期で開催されました。補正予算をはじめ、南九州市暴力団廃除条例の制定、23年度決算認定など原案どおり可決され、また、陳情2件が採択されました。

補正予算の主なものは、農業施設災害復旧費、道路橋りょう整備事業費など、3億4745万9千円を追加し、補正後の予算総額を214億737万2千円としました。

民生費

障害者虐待防止対策支援事業費
210万4千円



補助金を活用し設置した住宅用太陽光発電設備

農業用施設災害復旧



老朽化した汎用コンバイン

○頸娃保健センター管理
費
360万円

空調機の経年劣化によ
る取替工事が主なもので
ある。

農林水産業費

○農政関係費
368万円

知覧特攻物産館のトイ
レリフォーム及び南九州
市農業公社の汎用コンバ
イン

問 **○審査の中で**
便器などを取り替え
ない理由は。
答 洗面台や便器など、
汚れのひどい19台を交換
すると多額の費用となる
ため、研磨し、コーティ
ングすることで新品と同
等になる。

イン導入に対しても助成を
行うものである。

○力みなぎる南薩プラン
ド振興対策整備事業費
352万9千円

ブランド产地の維持・
拡大のため、さつまいも
(高圧洗浄機)を整備す
るもので、財源は県補助
金が主なものである。

○共生・協働のむらづく り活性化事業費 **50万円**

地域の団体と協働でむ
らづくりに取り組む神殿
地区の地域資源を活用し
て農村の活性化を図る經
費で、財源は全額県補助
金である。

○産地づくり対策事業費 (生産流通関係) **270万円**

かぼちゃの作付面積拡
大と品質向上のため被覆
施設を整備するもので、
財源は全額県補助金であ
る。

○市単独土地改良事業費 **630万円**

市有林の適正な管理を行
うため整備する林業専
用道笛ヶ峯線の測量設計
業務委託料と工事請負費
を追加するもので、財源



企業誘致に伴い付け替えられる農道

土木費

○市道単独整備事業費
4350万円

企業誘致に伴い、隣接
する市道整備に要する經
費などである。

③ 南九州議会だより 第20号 補正予算

市有林の適正な管理を行
うため整備する林業専
用道笛ヶ峯線の測量設計
業務委託料と工事請負費
を追加するもので、財源

は県補助金が主なもので
ある。

陳情 採択

◎「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める陳情書

提出者：南九州市川辺町上山田1831-1
本門 俊一郎

協同労働の協同組合は、働く人が協同で出資し協同で経営する形をとっている。企業で正規に雇用されない若者や退職した高齢者にとっても、働きやすい職場を自分たちで作る新しい働き方となり、地域の様々な課題に住民自身が取り組むための「組織」となることが期待されることから要請する。

意見書

世界の主要国では、労働者協同組合についての法制度が整備されていることから、国においても社会の実情を踏まえ、就労の創出、地域の再生・少子・高齢化社会に対応する有力な制度として、速やかな制定を要請する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

◎「こころの健康を守り推進する基本法」（仮称）の速やかな制定を求める陳情書

提出者：南九州市知覧町郡2818
江平 ヨリ

現在うつ病などのこころの健康と精神疾患の問題は、まさに国民誰にでも起こりうる生命・健康および生活にとって重大な問題となっている。

しかしながら、こころの健康と精神疾患対策に関しては一般医療との格差是正、地域生活を支える保健福祉サービスの基盤整備や職場・学校におけるメンタルヘルスの充実など今後推進すべき課題が山積していることから、精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、総合的・長期的な「こころの健康を守り推進する基本法」（仮称）の制定を強く求める。

意見書

こころの健康と精神疾患の問題は誰にでも起こり得る重大な問題となっているが、一般医療との格差是正、地域生活を支える保健福祉サービスの基盤整備や職場・学校などメンタルヘルスの充実などの解決に向け「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の早期制定を国に要請する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

条例の制定・改正

市内から暴力団排除

南九州市暴力団排除条例

南九州市からの暴力団の排除に関し、基本理念を定め、市及び市民等の役割を明らかにするとともに、暴力団の排除を推進し、もって市民の安全で平穏な生活の確保を図ることを目的に制定しました。

本会議における公聴会、参考人制度の導入

南九州市議会会議規則の改正

地方自治法では、公聴会の開催、参考人の招致が明確に認められていたのは委員会のみでしたが、小規模な地方公共団体においては、議員が少人数であるため、委員会で行うことが実態に合わない状況であったことから、今回の地方自治法改正にともない、委員会だけでなく本会議においても公聴会の開催、参考人の招致ができることとなったため、会議規則に、公聴会及び参考人招致について規定しました。

不採択となった請願・陳情

◎米軍機輸送機オスプレイ配備の撤回を求める請願書

◎消費税10%引き上げと社会保障の切り捨て中止を求める請願書

◎指宿市との消防広域化に反対し、4市での消防広域化を求める要望書

として硬直化！

一般会計

213億8,890万円

平成23年度一般会計と
6特別会計及び水道事業
会計決算認定が9月定期
会に上程されました。
議会では、一般会計決
算特別委員会と特別会計
決算特別委員会を設置
し、主要施策の成果説明
書や監査委員の決算審査
意見書などを参考に執行
部の出席を求め審査し、
いずれの決算も認定しま
した。

平成23年度一般会計の
歳入総額は220億59
33万6493円、歳出
総額213億8889万
5102円で、不納欠損
額1127万9753
円、収入未済額2億62
54万6623円となっ
ている。

収入未済額の主なものは、国・県補助金の繰越
明許に係るもののが828
8万4千円、市税、保育
所負担金、住宅使用料及
び市有地貸付料等に係る
滞納額が1億7966万
2623円であり、税など負担の公平性から、厳
正な対応をとるよう要望
する。

財政運営については依然として硬直化した状況
であり、今後も行財政改革を進める中で、健全で
弾力性のある運営に努めることを要望する。

徴収率の向上と
効率的な財政運営を

一般会計決算の概要

区分	23年度	内 容
歳 入	市 税	34億8054万円 市民税など私たちが納めるお金
	地方交付税	92億5353万円 市町村の均衡を図るために国が交付するお金
	国県支出金	41億2003万円 国県が使用目的を特定し交付するお金
	市 債	22億9715万円 市が事業のため借り入れるお金
	その 他	29億0809万円 使用料、繰入金、諸収入など
歳 出	合 計	220億5934万円
	総務費	24億4683万円 自治会関係費、電算管理費、人件費などに使うお金
	民生費	60億2917万円 子供や老人、障害者など福祉全般の実務事業に使うお金
	衛生費	15億8250万円 健康管理及び清掃作業に使うお金
	農林水産業費	19億1974万円 農業、林業、水産業に使うお金
	土木費	17億3523万円 道路や河川公園整備に使うお金
	教育費	30億3937万円 教材備品や学校整備に使うお金
	公債費	25億7876万円 市の借金を返すお金（元金・利息）
	その 他	20億5730万円 議会・商工・消防・基金積立など
	合 計	213億8890万円

市債(借金)と基金(貯金)の推移

区分	平成23年度		平成22年度	
	総額	一人当たり (人口39,138人)	総額	一人当たり (人口39,738人)
市債	220億8,066万円	56万円	220億4,428万円	55万円
基 金	84億6,496万円	21万円	75億7,552万円	19万円

23年度 決算認定

財政は依然

國民健康保險事業

問 医療費の伸びは。

答 21年度が49億2100万円、22年度は49億651億2900万円となつており、3年間で被保険者が1000人近く減少しているにも関わらず、医療費の総額は増加しており、国保財政は逼迫している。今後、27年度から見込まれる消費税増税分がどれだけ充当されるかも見きわめながら、国保財政の健全化に努めていきたい。

後期高齢者医療

負担の公平性の確保は重要であるため、収納率向上と収入未済額の減少のため、支払い能力のある滞納者については、差し押さえなどを含め、厳正なる対応をとるよう要望する。

問 施設に入れない待機者数との対応方法は。

答 待機者数は409名

介護保険事業

後期高齢者医療

後期高齡者医療

医療費の総額は増加しており、国保財政は逼迫している。今後、27年度から見込まれる消費税増税分がどれだけ充当されるかも聞きわめながら、国保財政の健全化に努めていきたい。

簡易水道事業

問 御領簡水の新たな水源の水質検査で基準値を

水道事業

問　水道事業会計の△ 従
の見通しは。



23年度完成した配水池（西元地区）

特別会計・企業会計決算額

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険事業	63億483万円	62億4,968万円	5,515万円
後期高齢者医療	4億9,075万円	4億8,942万円	133万円
介護保険事業	43億1,706万円	43億60万円	1,646万円
簡易水道事業	4億2,412万円	4億905万円	1,507万円
農業集落排水事業	7,601万円	7,443万円	158万円
公共下水道事業	2億1,143万円	2億376万円	767万円
合計	118億2,420万円	117億2,694万円	9,726万円
水道事業			
収益的収入および支出	3億2,854万円	2億9,295万円	—
資本的収入および支出	1億6,458万円	2億8,528万円	—

で、介護度により連続して30日間利用できるショートステイを紹介するなどの対応をしている。第5期介護保険事業計画で、小規模の特別養護老

簡易水道中央簡水については、23年度末で505メートルあり本年度で終了。青戸簡水は933メートルで、県道石垣喜入線の改良工事にあわせて更新していきたい。

後も進める必要があり、地域配水池についても、地域水道ビジョンにおいて川辺・知覧地域ともに増強が必要であるとの指針が出されており、これらの

事業を試算すると財源不足が生じることから、建設改良積立金を十分確保する必要がある。

が聞きたい!

14人が登壇

いっぽん質問



蓮子 幹夫 議員

補助金

各種団体等への 補助金は

市長／公平性を確保しながら交付したい

市長 桜島の火山活動は過去最速のペースとなっているが、県が毎年行っている農作物被害の調査問う。

菊永 支援策は、農家と行政が一体となつて取り組まないといけない。また、水不足も懸念されるが、どのように進めていく考えか。

菊永 桜島の降灰が、南薩地区にも数回飛散しているが、本市の農作物への被害状況、支援策及び摘採前の茶園洗浄機・洗浄脱水施設の整備状況を

によると、本市の被害は平成23年度が16億6千万円で、お茶が約6割強を占めている。農家の支援策については、活動火山周辺地域防災営農対策事業及び県の日本一茶产地プロジェクト事業を積極的に導入し、ビニールハウス・茶生葉洗浄脱水施設及び茶摘採前洗浄機などの整備を行っている。

降灰対策
農家への支援策は入する
被害状況及び
市長／国・県事業を積極的に導



菊永 忠行 議員



灰が付着した茶葉の洗浄

茶業課長 知覧地域では市の水道水を利用して機の設置が増えると、市

の水道水だけでは不足することが予想されるため、地下水のボーリングも検討したい。

市長 旧穎娃町地域内の青色パトロールに対する助成、また、市交通安全協会への補助金を、増額するように検討する考えはないか。

蓮子 旧穎娃町地域内の青色パトロールに対する助成、また、市交通安全協会への補助金を、増額するように検討する考えはないか。

市政のこと

市長の政治姿勢を示せ

市政

市長／市民の声は聴いている

市長

南九州市では市

市民が行政に何を
やろうとしているのか
分からぬといふ声を最
近多く耳にする。市民の
声を反映させるため、ど
うな取り組みを行つ
てゐるか。

亀甲 俊博 議員

亀甲 指宿市との消防の
広域合併の件は、住民の
安全安心の問題であるに
も関わらず住民に説明を
しなかつた理由と、パブ
リックコメントの手続き
をとらなかつた理由は、

民の意見を市政に反映さ
せるため、パブリックコ
メント手続き、説明会や
意見交換会などの各種会
合、市民が主体となつて
原案から作り上げていく
市民会議、アンケート調
査など様々な市民参加の
方法により意見を聴取し
ている。

て、これを進めていこう
とは思いませんし、ただ
一から十まで、住民の皆
さんの意見を聞いてこれ
を進めていく気もないと
ころです。

- ・その他の質問
- ・特定不妊治療費の助成
- ・胃がん対策



頬娃地域の青色パトロール

助金については20年度に
「見直しに関する指針」
を示し、23年度に見直し
を行つた。補助金の目的・
成果、必要性について検
討し行財政改革を進めて
きたが、各団体の内容等
も大きく違うので公平性
を確保しながら交付した
い。

蓮子

えい二枚貝栽培セ

ンター跡地の売却におい
て、土地の一部が名義変
更されておらず、同じ土
地を二回買うとして不利

益を被ることとなるが、
土地の売買のトラブルを
未然に防止するために入
会林野事業を再度導入す
る考えはないか。

市長 市有地の未登記は
2972筆ある。今後、
登記事務体制を整備し、
専門家にも相談しながら
進めていく。

入会林野事業について
は、入会集団の意向を確
認しながら取り組みた
い。



市政懇談会

広域化の取り組みは

市長／指宿との広域化に努力する

消防広域



竹迫 肅 議員

竹迫

消防広域化の取り組みについて、無線デジタル整備の財源負担を含め、4市協議から現在までの経緯は。

市長

国の消防広域化の基本方針が策定され、県は平成20年3月、消防広域化推進計画を策定した。

本市は枕崎市、南さつま市、指宿市による「南



消防広域化住民説明会

薩地域消防広域化運営協議会」を設立し、7回協議したが、本部位置で意見がまとまらず解散した。その後、枕崎を除く3市で協議したが本部位置で意見集約できなかつたので3市の協議は断念した。

デジタル化に伴う費用は、指宿市との2市では一般財源1億6800万円、現体制での整備で2億5200万円となり、

8400万円の経費削減になる。

竹迫

経費削減は本市に

とっても大事である。また、2つの組合に加入し、股裂状態であることにより市内での救急、救助、消火にも支障があり、これら解決のためにも指宿との広域化実現に努力すべきと思うがどうか。

市長 実現するよう努力したい。

深町

平成23年6月議会において、「市民音頭の

制定につきましては、市民体育大会や各地域のお祭り等市民参加の行事などで、歌い踊られることにより、市民の融和が図られ愛郷心を養うなどの効果が期待される。今年度職員で構成をいたしまず検討委員会を設置し、平成24年度の予算化に向けて準備を進めてまいりたい」と答弁している。

市民音頭制作に向け、府内検討委員会が設置され準備が進められていると思うが、これまでの経緯と今後の計画を問う。

市長

市民音頭の制作に

ついては、本年3月に職員10人で構成する府内検討会を設置し、市民音頭制定委員の選定や制作に向けた工程について協議している。



深町 幸子 議員

市民音頭

市長／平成25年度に決定する

今後の計画は



市民体育大会での集団演技

制定委員は、各種団体、学校関係者、学識経験者、市役所職員など18人を決

と振り付けは平成25年度に決定する計画である。

今後は、平成24年に決

定する。

詞を広報誌やホームページで募集し決定する。曲

に決定する計画である。

市民アンケート

調査の分析は

市長／基盤づくりが図られた



西 次雄 議員

「合併して良くなかった」が30%で、「良かった」の22%を上回っている結果をどう判断するか。

なんだ旧三町への思い入れや人事異動により顔見知りの職員が減ったこと、合併協議で施設使用料など統一を図ったことにより、地域によっては負担増となつたことなどが影響していると考えている。

・学校のいじめ防止対策
その他の質問



市民アンケート回収ボックス

対象者へ助成の考えは

市長／25年度の予算化に向け検討

不妊治療



山下つきみ 議員

山下 少子高齢化の進展と人口減少が続く中、不妊治療費助成を実施していく自治体が増加している。高額な治療費を要することから対象者に助成を行い、少子化対策に取り組む考えはない。

市長 本市においても更なる少子高齢化の進展が予測されることから、地域の活力を維持していくためにも、定住促進、福

清水磨崖仏群の倒壊
防止対策は
市長／関係機関と連携し、保存工法の検討をしていく

不妊治療費助成申請受付窓口 不妊に関する一般相談窓口

対象	名称	所在地	電話番号
鹿児島県窓口	加世田保健所	〒897-0001 南さつま市加世田村原2-1-1	0993-53-2316
南九州市窓口	川辺保健センター	〒897-0215 南九州市川辺町平山6978	0993-58-3223
	頴娃保健センター	〒891-0792 南九州市頴娃町牧之内2830	0993-36-1111
	知覧保健センター	〒897-0302 南九州市知覧町郡17530	0993-58-7221

※一般相談窓口のほかに専門相談窓口もございます。詳しくは各支所保健センターにてお問い合わせください。

える。
「産業・経済」「公共料金等」は厳しい評価となつてゐるが、長引く景気低迷など、国の社会経済情勢や施設使用料などの統一によるものが大きく影響しているものと考

盤・生活環境」「コミュニティ・その他」は比較的評価が高く、融和や一体感の促進など基盤づくりが図られた。

西 合併に関する市民アンケートの調査結果をどのように分析しているか。

市長 「保険・医療・福祉」「教育文化」「社会基盤

んだ旧三町への思い入れや人事異動により顔見知りの職員が減ったこと、合併協議で施設使用料など統一を図ったことにより、地域によっては負担増となつたことなどが影響していると考えている。

西 次雄 議員

西 「合併して良くなかった」が30%で、「良かった」の22%を上回っている結果をどう判断するか。

西 これまで慣れ親し

るか。

西 これまで慣れ親し

立体交差となりうる。総合的に検討するよう要望していく。

農家への被害状況と今後の対策を問う。

立体交差を要望する考えは

市長／総合的に検討するよう要望する

縦貫道

降灰による茶の被害状況と今後の対策は

市長／降灰対策事業を活用していく

塗木 桜島の爆発は、本年史上2番目の早さで700回を超える。南九州市においても一番茶、二番茶の生産期間に10回の降灰が確認されている。茶

不落となり返品されたお茶が一番茶で25件、二番茶で317件あり甚大な被害が発生した。今後の対策として、降灰対策事業を活用し、能力の高い洗浄脱水機や摘採前洗浄機を計画的に導入していく。

・他の質問
・市道の整備

南薩縦貫道川辺インター



市長 財政状況などを考慮すると、一挙に行うことは困難であるが、施設整備や改修に合わせて、計画的にLED化を進めいく。

エコ対策

公共施設のLED化は

市長／計画的に進める

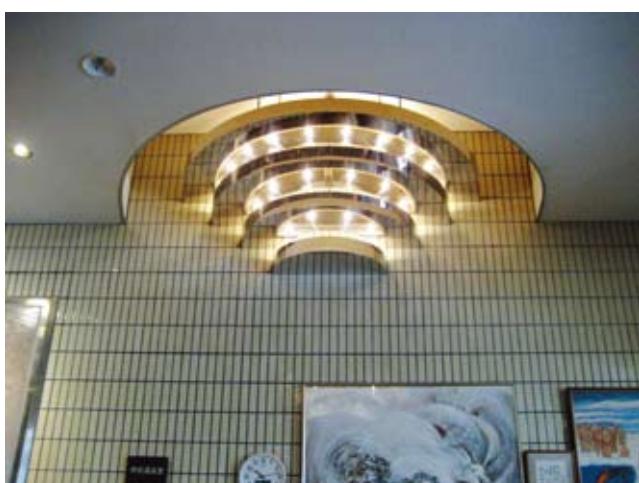


蔵元 慎一 議員

委託料の業務見直しを
市長／効率的な予算執行を目指したい

蔵元 首相官邸前では、脱原発を訴えるデモが行われ、日本のエネルギー政策は大きな転換を迫られている。再生可能エネルギーの創造、エコ事業への取り組みの観点から、庁舎、各公共施設、防犯灯などの照明器具を計画的にLED化する考えは。

市長 24年度予算編成から諸経費率について統一している。今後とも費用対効果を考慮し、より効率的な予算執行を目指したい。



平和会館で使用されているLED電球

塗木 南薩縦貫道「霧島・川辺」は整備区間に指定され調査測量が行われており、平面交差で計画されているが、市道との交差点も多く非常に危険であるため、立体交差を要望する考え方はないか。

市長 側道を設けることで市道等を集約し交差点を少なくする。ただし、地形的な条件によつては

岩崎育英基金

有効な活用策は

教育長／現在の運用を遵守



滿留 秀昭 議員

市に30000万円の基金残高があり、それが眠っている現状である。その30000万円を岩崎育英財団に返したらと考えるが、市長の見解を問う。

市長 わざか利子が500円でも貴重な財源になるとと思うことから、返すというのもいかがなものかと思う。



倒壊の恐れがある大五輪塔

検討委員会の状況は

市長／既存施設の延命化を図る



吉永 賢二 議員

火葬場

検討委員会の状況は

消防広域化への取り組みは

吉永 消防広域化に向けこれまでの取り組みを

市長 平成24年4月の庄
域化に向けて、4市で平
成23年7月までに7回協

会を設立し、2市との広域化に向けて協議を進めている。

その他の質問
・河川管理

吉永 火葬場検討員会
が、4回開催されている
が、これまでの検討状況
を問う。
市長 川辺火葬場は、男
女別トイレの改修及び1
号、2号炉の改修を行い、
延命化を図る。
穎娃 済楽苑1号、2号
炉の延命化の改修を完了
させた後に一部事務組合



改修が待たれる川辺火葬場

は、「基金の取り崩しをすることなく、基金から生ずる利子を青少年の健全育成に関する事業に充当すること。」という取決めがなされているので、現在の運用を遵守していきたい。

預金利率が非常に低い中、基金利子のみの活用では、現行また、将来的にも有意義な活用はないか。

清水磨崖仏群大五輪塔の倒壊防止対策

加入の手続きをするところ。また、既存施設を近づいた時に市で1施設あるいは南薩地区衛生管理組合管内で調査を行ふなど意見が出てゐる。

議し、幹事会を11回、専門部会などを61回開催し検討したが、協議項目の調整が進まず、また本部位置については、最後まで意見がまとまらなかつた。平成23年7月に協議

の資機材不足や人員不足のため、防災力や救助体制は十分なものではないと考えている。

も図られ、南九州市の消防力・防災力が高まっていくと考えている。

防災行政への取り組みは

消防広域

市長／消防署の設置で消防力・防災力は高まる

市民の安心安全を守るためにには不可欠なものであり、指宿市との消防広域化を進めることで、消防署の設置も可能となり、財政状況の厳しい中、経費削減にもつながるものと思う。また、救助工作車などの資機材の充実



広域化が進められている指宿地区消防組合

市長

約束は約束で

市長 消防署のない市は県下19市の中でも本市だけである。救助工作車など

田畠 現在の分遣所方式で防災力や救助体制は十分と考へるか。また、消防広域化をどのように進め、防災行政に取り組んでいく考へか。



田畠浩一郎 議員

の資機材不足や人員不足のため、防災力や救助体制は十分なものではないと考えている。

市民の安心安全を守るためにには不可欠なもので

あり、指宿市との消防広域化を進めることで、消防署の設置も可能となり、財政状況の厳しい中、経費削減にもつながるものと思う。また、救助工作車などの資機材の充実

南部出張所

市長／「合併協議会」の決定を尊重したい



内園知恵子 議員

守っていかなければならぬと思う。

市長 耐震は、震度7程度を想定し、年次計画的に耐震補強工事を実施する。従つて当面は、現在の総合支所方式、一部分方式でいく。

内園 庁舎のあり方市民検討委員会のなかで、「調査研究し、新庁舎建設の方向性を示せる様にしたい」とあるが新庁舎を造る考えはあるのか。

市長 新庁舎を造るとは一回も言っていない。

内園 総合支所方式を堅持する考えは

市長／当面は、総合支所方式で

その他の質問

・高齢者対策

・住宅リフォーム助成制度



本年度末で閉鎖する南部出張所

市長

約束は約束で

内園 これから高齢化が進み、車に乗れない方など弱者のためにも存続できないか。

内園 利用状況は。

内園 若干は伸びている。

内園 これから高齢化が進み、車に乗れない方など弱者のためにも存続できないか。

市長 耐震は、震度7程度を想定し、年次計画的に耐震補強工事を実施する。従つて当面は、現在の総合支所方式、一部分

市営住宅

住環境の整備は

市長／交付金事業を活用



伊瀬知正人 議員

調査をしながら、積極的に
進めていきたい。

伊地知 住宅使用料の
未納者対策は。

建築住宅課長 通常は



老朽化が著しい牧之内住宅

市営住宅係が行い、定期的に建築住宅課全員で集中的に戸別訪問を行い徵収を実施している。

伊地知 牧之内団地は嵩上げをして建て替えできなか。

建築住宅課長 牧之内団地については、27年度から実施設計に着手する考えである。嵩上げもその段階で検討したい。

伊地知 市長 整備については、市の総合計画などに基づき国の交付金事業を活用しながら建て替える時に、屋外スロープや室内の段差解消、手摺りの設置を行っている。

伊地知 地域活性化住宅を知覧地域や頴娃地域にも要望があれば対応する考え方はないか。
市長 希望者がいれば、条件は満たされているか

傍聴者の声

頴娃町別府 西 和美

頴娃町郡 和美

瀬崎 朋美

西 和美

初めて議会を傍聴しました。議題の多さに驚きました。形式的な討論で済ませていくものと想像していましたが、一つの議題に対して複数の議員が何度も質問するのを見た。当たり前ですが、ちゃんとしているのだなと思いました。

市内の様々なことが協議されるので、今の南九州市を知るために議会を傍聴することも大切だと感じました。

南九州市の発展のために、今後も議員の方々のご活躍に期待いたします。



伊地知 市長 整備について、市長 整備については、市の総合計画などに基づき国の交付金事業を活用しながら建て替える時に、屋外スロープや室内の段差解消、手摺りの設置を行っている。

伊地知 地域活性化住宅を知覧地域や頴娃地域にも要望があれば対応する考え方はないか。
市長 希望者がいれば、条件は満たされているか

市 民 の 声



知覧町 永里

宮崎 富江

年寄りのひとりごと

今までいいのだろうか？綺麗さや物はお金で買えないことに気付かず自分の欲望ばかりに振り回されている人の多いこと。人の心が、病んでいるかのように思えて悲しくシクシクです。

議会と議員に望むこと



川辺町 清水

川口 正一

消防広域化について、色々なことが聞こえてきます。市民の安心・安全を住民は心配している今日この頃です。自分自身に責任を持つて「決して悪い結果は出さない」市民代表の議員の皆様を信じたいと思います。

今、永里で農家民泊の仕事をさせてもらっています。色々な方との出会い、ご縁を頂き、家にいながら日本中のお話を聞けて何と幸せ！でも、考えさせられることも心配することもいっぱいあります。この

夫かな。「私は年だから」と逃げ出さないで下さい。年寄りの出番です。少しでも将来がよりよい方向に進むよう。子どもが大人になることに希望を持てる世の中になるよう色んなことを教えてやつて下さい。見て見せて下さる。私はいつも思つていることがあります。「これまで重ねた年月は私の財産ですから」と胸を張つて言えるように今のこの時間を精一杯生きてみようと。

今日より若くなる日はありませんから・・・。

議会だよりを拝見する

と、個々の議員が住民や地域の実情・課題を把握し、その願いや要求を実



▼広報編集委員会

委員長 峯吉 勝範
副委員長 田畠浩一郎
委員 亀甲 俊博
西 次雄
吉永 賢三
下窪 一輝

広報編集委員会 研修報告

編集後記

広報編集委員会 研修報告

編集後記

10月10日に鹿児島市で開催された町村議長会主催の広報研修会に参加しました。

議会だよりは、議会の動きや予算の審査、議員の活動などをわかりやすく市民の皆さんに伝える役割があります。

今回の研修で学んだことを参考に、限られたスペースではありますが、「市民の声」をはじめ、皆さまに情報提供をしていただくコーナーを設け、より親しみやすい議会だよりづくりに、委員一同努めてまいります。

10月14日、第4回市民体育大会が知覧平和運動公園で開催されました。グラウンドでは市内20の地区の選手が健脚を競い、応援に声をからしました。この大会の大きな目的である市民の健康増進・親睦・融和など所期の目的を達成できた素晴らしい大会でした。

12月には南九州市も合併5周年の節目を迎えます。5年間を振り返り、更に将来を見据える機会にしたいものです。

(下窪)

茶烟では秋冬番茶も終わり、きれいに園ならしさ、冬支度が出来ました。いよいよ秋の深まりを感じます。

10月14日、第4回市民体育大会が知覧平和運動公園で開催されました。グラウンドでは市内20の地区の選手が健脚を競い、応援に声をからしました。この大会の大きな目的である市民の健康増進・親睦・融和など所期の目的を達成できた素晴らしい大会でした。

12月には南九州市も合併5周年の節目を迎えます。5年間を振り返り、更に将来を見据える機会にしたいものです。

(下窪)